

地方を元気にするために徹底した議論を

自由民主党総務会長 竹下 亘

今年も全国町村長大会がこのように盛大に開催されましたことを心からお慶びを申し上げますとともに、自由民主党をお招きいただきましたことに心から感謝申し上げます。

さて、今朝３時１８分、北朝鮮がまたミサイルを発射いたしました。４千kmをはるかに超える高度に達し、青森沖２００数十kmに落下をしたという状況でございました。当然、国家として、国家安全保障会議を午前６時前後から開催しましたし、自由民主党としても、緊急役員会を午前７時から開催し、対応について議論を重ねているところでございます。

本日お集まりの町村長の皆さん方は、まさにそれぞれの故郷で、地域住民の命と暮らしを守るという重要な役割を果たしていただくと同時に、いつ起こるか分からない様々な災害等に対して、２４時間体制で対応しておられることに、改めて敬意を表する次第でございます。

さて、自由民主党は、「地方を元気にする」ということを大きな目標にして、地方創生という旗を立て、頑張っているところでございます。まだ、すべての地方が「元気になったな」、あるいは「景気が良くなったな」という温かさを感じられるまでには至っておりません。もっとやらなければならないという強い思いで対応しているところでございます。

私自身は、人口３、８００人の小さな町で、生まれ育ちましたので、「なんとしても故郷を守り抜くんだ」ということを自らの政治信条の一番に掲げて、今日まで政治活動をしてまいりました。それは、自由民主党の思いと同じであります。

都会だけが元気で良い訳がありません。都会と地方が共に元気になれば、本当の日本ではないという強い思いを持って、これからも皆さんとスクラムを組んで歩いていく決意をしております。

さて、これから税制に関する議論が活発になってきますが、我々は地方の小さな自治体の行財政運営が滞らないことを大前提に、激しく議論を戦わせ、成果をあげていかなければならないと思っております。

また、森林環境税についても、導入することは決定しておりますが、どういう形でいつから導入するか、今年中に結論を出さなければなりません。森林環境税の導入を、山を守り、故郷を守り抜くための一助にしていかなければならないと考えております。

そして、消費税が引き上がる際に、少しでも多く地方に配分されるようにできないかという議論を、スタートさせたところでございます。これはなかなか一筋縄でいく話ではありませんが、我々は、地方にそうした財源が配分されるようにしなければ、現状でも厳しい地方はますます大変になるという危機感を持って、こうした議論にも立ち向かっていこうと考えております。

いよいよ来年度の予算編成が始まります。自由民主党は、「地方が元気になる方法を徹底的に追求する」という、地域に根ざした政党であるという自覚を持って、懸命に頑張っていかなければならないと考えております。

「故郷を守り抜きましょう。地方を元気にしましょう」、皆さんと一緒に力を合わせて頑張っていくことを、お誓いを申し上げましてご挨拶とさせていただきます。